

令和 8 年熊本地震に係る
第 5 回政府非常災害現地対策本部会議
第 12 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 8 月 2 日（日） 16：00～

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）今後の気象の見通し

別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）県からの報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）国からの報告

①総務省

応援職員の派遣状況について、総括支援団体は 5 県市 14 名、対口支援団体は 49 都県市 533 名を決定。現在こちらに向けて移動、あるいは出発準備している団体の数値を含んでおり、多くの団体は 3 日 4 日を中心に現着し活動を開始する予定。避難所運営や罹災証明書発行業務など、さらなる市町村のニーズを確認し、柔軟に増員の対応を調整する。

②国土交通省

日奈久 IC から田浦 IC については緊急車両のみの通行を許可。日奈久 IC 上り線降り口のランプが壊れているため、一度本線で U ターンし、下り線のランプから降りてもらう運用をしており、安全管理のため、現場では一旦停止が必要。各機関所管の緊急車両は、一旦停止を順守いただくようお願いする。

明日、午前 7 時までに県道 14 号八代鏡宇土線が片側通行から両側通行になるため、混雑が発生している国道 3 号から八代鏡宇土線への迂回案内を行う。

本日から新たに、北陸地整「白山」で入浴支援を開始。入浴支援について被災者に情報発信するため、国交省港湾局 SNS で情報発信を行う。県や自治体でもポストするなど情報発信に協力いただきたい。

独立行政法人水資源機構の可搬式浄水施設装置の設置に関して、氷川町竜翔センターの入浴施設の水等を支援するため、8 月 4 日から給水活動を開始する。

③陸上自衛隊

本日も 9 ヶ所の病院への給水を含む 65 ヶ所で給水支援を実施中。ラストワンマイルの救援物資輸送として、本日から 4 日までの予定で、2 市 4 町 65 ヶ所の高齢者施設へ飲料水を届ける。

火の君文化センター、八代港、三角港での入浴支援に加え、本日から航空自衛隊による氷川中学校での入浴支援を開始する。明日以降も引き続き給水、入浴、物資輸送の各種支援を継続する。

④海上自衛隊

本日の入浴支援について三角港では「えんしゅう」が 15 時から 21 時まで、八代港では新しく入港した「くにさき」が 16 時から 21 時までで実施中。各艦において、海上自衛隊の看護師指導による健康相談も実施している。

⑤航空自衛隊

本日 16 時から 20 時まで氷川中学校で、使用した水をその場で浄化再利用し水が不足する環境でも、生活用水を確保できる水再生循環システムを活用した循環型シャワーセット 6 セットを設置し運営する。

また明日以降さらなる追加も考慮しており、調整を進める。

(4) 関係機関からの報告

①九州電力

本日 13 時点の停電受付残件数は 536 件。宇土市、宇城市、八代市、氷川町の避難者へのチラシ配布について、昨日 50 ヶ所、本日 58 ヶ所、重複訪問箇所を除き合計 70 ヶ所の避難所の訪問を実施。地域住民から安心の声やお礼の言葉などをいただいた。引き続き早期の停電解消に向け取り組んでいく。

②日本赤十字社

8 月 3 日より救護班 12 隊、コーディネートチーム 5 隊で活動を予定。

避難所のアセスメント及び物資支援を行っており、避難所の環境改善を図るため、衛生セットの配布や段ボールベッドの設置の支援を続けている。

③緊急消防援助隊

本日、緊急消防援助隊の救急隊 34 隊が 11 時までに宿营地へ集結。

上益城、宇城、人吉、水俣・芦北地区の救急対応に当たるとともに、災害時の熱中症予防のため、避難所の見回りを開始。本日中に数件回り、熱中症予防啓発のリーフレットを配布する予定。

④災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会（DSAM）

本日から8月16日までの予定で、支援活動に当たる皆様対象に鍼灸マッサージ師による支援者支援を実施。本日は19時から21時まで303号室で実施。

明日以降の実施場所については現在調整中。

3 災害対策本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり

4 現地対策本部長（津島副大臣）からのコメント

皆様お疲れ様です。本当に今日の暑さはこれまでの暑さと異なる、そういう感じを私も持っております。

そういう中で、私も外に出て、回った先で奮闘いただいている熊本県の皆様、そして国の機関の皆様、全国の応援職員の皆様の姿を見ております。本当に頭の下がる思いです。心より感謝を申し上げます。

私からまず、熱中症予防、エコノミークラス症候群防止について、被災者の皆様、県民の皆様に、引き続き、より力を入れていただきますようお願いを申し上げます。

重ねて申し上げますが、水その他必要な物資については、継続してプッシュ型で被災者の皆様のもとへお届けをして参ります。

トイレについて、衛生環境が良くないというご指摘があった箇所についても改善を今図っているところです。増備も進めております。

また、空調設備についても、設置を進めているところです。

知事からお話がありました八代港の管理代行についてです。国土交通省では、明日から管理代行を実施すべく手続きを進めております。間もなく公表されると聞いています。知事から要請があったことは、私から金子国土交通大臣にもお伝えしたいと思っております。

また、応急仮設住宅建設着手ということがございました。迅速に建設されるように、引き続き支援をして参ります。

それから農業関係の被害についても把握をしています。

今、米の生育にとって非常に重要な時期にある中で、用水関係が行き届いていないという状況を把握していますので、より広範な地域についての的確に状況を把握し、県の農林水産部と連携して必要な対策を講じて参ります。

総じて、これからは物資、インフラの復旧というところに加えて、被災者お一人お一人の避難生活の状況を的確に把握し、必要な支援を迅速に届け、QOLの向上を図っていく、そういう状況に進んでいくと思っています。

この避難所環境、避難生活の QOL 向上ということを、より強力に進めて参ります。特に公衆衛生の観点から、必要な体制を物資と合わせて整えて参ります。

明日が一つ暑さのピークと言われております。ご自宅に戻られて、片付けをされる方、どうか被災者の皆様には無理をなさらず、自分たちで何とかしよう、その気持ちは大変尊いものです。しかし、大事にしてもらいたい、尊いものは命です。

命を守るために被災者の皆様には、助けが必要ならば声を上げてほしい。受けとめる人間は必ず周りにおります。我々はその声を受けとめて参ります。

ですから、この暑さを、皆様ご自身のご努力と合わせて、みんなで乗り切って参りたいと思っております。

引き続き、皆様のご協力を切にお願い申し上げます。よろしくお願いします。